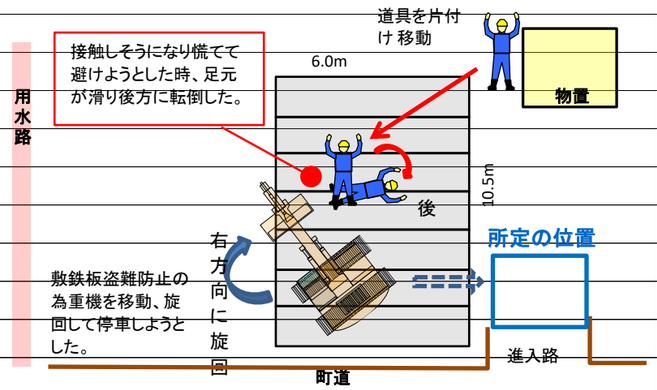
重機と接触しそうになり慌てて逃げる際に転倒

転倒ー２

災害発生時記録						
発生月日　時	1月25日(土)16時15分	工事内容	圃場整備工事(整地工、暗渠排水工、用水路工一式)			
被災者	職種	土工	経験年	42	所属	一次下請け
被災程度	頭部裂傷					

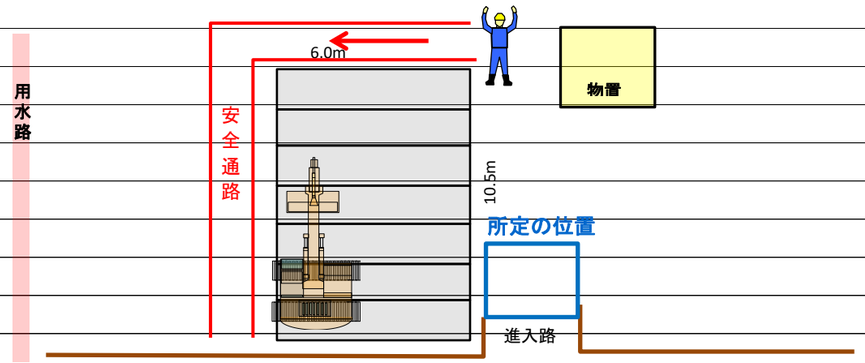
災害発生状況（写真）

作業が終わり敷鉄板の盗難を防止するためにバックホーを所定の場所へ移動しようと、旋回したところ
道具の片付けを終えた被災者が不用意に旋回範囲内を歩行していたためバケツと接触しそうになり、
慌てて退避しようとしたが足元が滑り、後ろ向きに
倒れ敷鉄板に後頭部を強打した。



初期の対策状況含む事項(写真含)

被災者はヘルメットを着用していたが頭部に裂傷があったので病院へ搬送した。
精密検査の結果、脳に異常はなく裂傷部を縫合して帰宅した。
そして二日間休業した後、通常作業に就いた。(休業2日災害で処理)



番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	重機が旋回しないと勝手に思い込み旋回範囲内に不用意に入ったこと	○		◎	1. 重機と労働者が混在する場所は、安全通路を設ける。更に作業計画を作成し、安全通路を通行するよう関係者に周知徹底する。また、やむを得ず重機の傍を通行する場合は、合図を確認し重機が確実に停止してから近づく。(グーパー運動を実践させる)	作業中は立入禁止措置や誘導者の配置が作業計画で定まっているが、重機が単独で移動したり、物を運搬する場合は殆ど対策が講じられていない。過去の重機災害事例でもこのようなケースでの災害が多いことから十分注意が必要です。
2	重機オペが周囲を確認しないで旋回したこと	○			2. 重機の旋回は原則、死角方向には行わないよう指導を徹底する	

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的・物的・管理的)に関係・該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。(添付要因資料参照)